

2012年11月9日

卒業論文提出についての注意

東京大学文学部行動文化学科
社会学専修課程

1. 卒業論文の製作には原則としてワープロを使用すること。A4版の用紙を用い、上下25mm、左右30mm程度の余白を取り、1行40字、1ページ35～40行で印字すること（書式について詳しくは研究室HPにある「卒論テンプレート*」の「書式設定の基本ルール」を参照すること）。なお提出前に誤字・誤変換等がないか十分推敲し、すべてのページにページ番号を入れること。
* <http://www.l.u-tokyo.ac.jp/sociology/undergraduate.html#graduation>
2. 論文の題名を記した扉に、A4での総ページ数と総文字数を記載すること。
3. 卒業論文の分量は、上記書式でA4×50～57ページ（1ページあたりの行数による）を標準とする。
4. 論文には目次を付けること。また章や節の切れ目が明らかになるよう適宜、改頁や強調などを行うこと。
5. 文章や資料を引用または参考にする場合、その出典を必ず明示すること。出典は、(i) 括弧に入れて文中に挿入するか、(ii) 注の中に入れて表示すること。以下に両方法を概略するが、どちらを選ぶにせよ、実際に『社会学評論』などの諸論文における出典表示の仕方を事前に研究しておくこと。論文末に文献一覧を作るのも忘れないこと。（6を参照）

(i) 文中に挿入する場合は、下記の例を目安にして、著者名と出版年により参照した文献を明示する。文献の一部のみを参照・引用したときは該当箇所のページ数を記載すること。

(福武 1978) ←文献全体を参照した場合

(Parsons 1951=1974: 120-128) ←文献の一部分を参照・引用した場合

(ii) 出典を注に入れる場合、脚注の形で各ページ下部に置いても、章の末尾または論文全体の末尾に巻末注の形で一括して置いてもよい。その表記は、次の各例を目安にして記入すること。この場合も、文献一覧をつけることを忘れないこと。（下記6を参照）

(a) 和書単行本

福武 直, 1978, 『現代日本社会論 第2版』, 東京大学出版会, 209頁。

(b) 和雑誌論文

青井 和夫, 1974, 「深層理論からみた社会学方法論」, 『思想』 1974年2月,

17-38 頁。

(c) 論文集所収論文

松島 静雄, 1973, 「産業社会学の課題と構成」, 松島静雄編『社会学講座 6 産業社会学』, 東京大学出版会, 1-12 頁。

(d) 翻訳書

Parsons, T., 1951, *The Social System*, New York: Free Press. 佐藤勉訳『社会体系論』, 1974, 青木書店。

(e) 洋書単行本

Collins, R., 1994, *Four Sociological Traditions*, New York: Oxford University Press.
Touraine, A., 1974, *Production de la société*, Paris: Seuil.

(f) 洋雑誌論文

Lincoln, J.R., J. Olson and M. Hanada, 1978, “Cultural Effects on Organizational Structure: The Case of Japanese Firms in the United States”, *American Sociological Review*, vol. 43, no.6, pp. 829-847.

(g) その他, 省略記号

・洋書単行本の名前や洋雑誌名は, イタリック体のフォントか, 下線で示す
・再出文献の場合は, 「同書」・「前掲書」など, 適当に簡略化して示すこと。
次のような記号を使用してもかまわない

ibid. 同書, 同論文

op.cit. 前掲書, 前掲論文

6. 卒業論文の末尾に, 引用・参考文献の一覧を必ずつけること。文献は, 著者の名字のアルファベット順にならべること。(著者が同じものは年代順にならべること。なお文献一覧を作る際には, 上の文献表示の例を参照すること。)
7. 論文は必ず製本して提出すること(印刷と製本に要する時間も考慮に入れて執筆すること。製本に当たってはページの脱落などが生じないように注意すること。)
8. 本年度の卒業論文の提出締切は以下の通り。なお卒業論文の単位を履修科目として申請しておくのを忘れないこと。
 - ・締切: 2013 年 1 月 7 日(月)~8 日(火) 10 時~12 時及び 13 時~15 時 30 分
 - ・提出先: 三友館
9. 卒論提出後, 卒論審査の参考資料として以下の要領に従って「卒論要約」を作成し提出すること。
 - ・締切: 2013 年 1 月 31 日(木) 15 時
 - ・提出先: 社会学研究室

<p>タイトル</p> <p>学籍番号・氏名</p> <p>目次</p> <p>総ページ数 (〇〇〇枚)</p> <p>総文字数 (〇〇〇〇字)</p> <p>要約</p> <p>*****</p> <p>*****</p> <p>*****</p> <p>*****</p> <p style="text-align: center;">1</p>

<p>*****</p> <p>*****</p> <p>*****</p> <p>*****</p> <p>*****</p> <p>*****</p> <p>*****</p> <p>*****</p> <p>*****</p> <p>*****</p> <p style="text-align: center;">2</p>
--

- ① 上図のように A4 用紙 2 ページで作成し、両面印刷（長辺綴じ）したものを一部提出。原則、ワープロ等で作製し、各ページ上下左右とも 30 mm 程度の余白をとること。
- ② 1 頁目の上方に、「論文タイトル」「学生証番号」「氏名」を記入。
- ③ その下にまず「目次」を記す。
目次は卒論の「章」および「節」を記す。必要に応じて、さらに細かく記入してもよい。構成の最後に、論文の長さを A4 での総頁数と文字数で記す。
- ④ 残りの全部を用いて「要約」を記す。要約は卒論の内容を、以下の点を中心に要約して述べる。
 - a) 論文で明らかにしようとした課題。
 - b) この課題に関する既存研究の状況。
 - c) 課題の探求において、論文が用いた方法の特色と優れている点。
 - d) 用いたデータ、資料、文献のうち、特記すべきもの。
 - e) 論文における探求の順序、手続き、論理。
 - f) 論文によって明らかにされたこと。

以上